

会 告

大会の開催

前号の会告を一部訂正し11月17日(木)、18日(金)の両日、東京大手町の産経会館5階で大会を開催することとなった。プログラムは、9月15日までに申込まれた論文を中心にして決定の上、次号(10月末発行の予定)に発表する。なお17日(木)の夕刻に懇親会を予定している。

月例講演会

1. 9月21日(水)午後2時

場所: 産経会館(604号室)(地下鉄大手町下車)

議題: (プログラム懇談会と共催)

(1) 輸送問題の新しい解法

高田 勝君(東大・工)

(2) モンテ・カルロ法による電離係数などの計算

伊藤富造君(電気通信研究所)

武者利光君(電気通信研究所)

(3) その他

2. 10月28日(金)午後2時

場所: 電機工業会館講堂

(都電・バス溜池下車、地下鉄議事堂前下車)

議題:

(1) 証券事務機械化の1ケース

田中信次郎君(大和証券)

(2) 事務データ処理の1ケース

植木 繁君(古河電工)

(3) 事務データ処理の点から見た機器への要求

南沢宜郎君(小野田セメント)

両講演会とも予稿は当日会場で実費配布。

関西での講演会

日時: 10月14日(金)午後1時30分

場所: 中央電気クラブ(大阪市北区堂島中二丁目九番地、市電堂島中町西入ル)

講演

(1) 事務機械化における電子計算機導入の諸問題

門川清美君(武田薬品)

(2) Business Game について

横山 保君(大阪大学経済学部)

(3) 電子計算機の演算高速化方式

豊田準三君(三菱電機)

(4) KDC のプログラミングについて

清野 武君(京都大学工学部)

(5) 電子計算機技術の動向

高橋 茂君(電気試験所)

会 誌 へ の 寄 稿 規 定

(1) 寄稿者は原則として本会会員に限る。

(2) 本会所定の原稿用紙(申込み次第送付する)に執筆のこと。(雑誌1ページは本会原稿用紙で7枚)

(3) 寄稿の種類

1. 論文(長さは刷上り6ページ以内、題目、著者名、所属の英訳を付ける)

学術および技術に寄与する新しい研究成果

2. 紙上討論(長さは刷上り1ページ以内)

本会誌に掲載された事項に関する討論およびそれに対する原著者の回答。

3. 寄 書(長さは刷上り1ページ以内)

論文とするほど纏まったものではないが、学術および技術に寄与する新しい研究成果あるいは考察など。

4. 会員の声(長さは刷上り2ページ以内)

学術または技術について会員一般の関心を促す

ための意見、本会の事業および動向に対する批判や意見など。

5. 文献紹介(長さは刷上り0.5ページ以内)

紹介したい原著の題目を学会に照会の上、寄稿せられたい。掲載の節は謝礼を呈する。

6. ニュース(長さは刷上り0.5ページ以内)

ニュース源の紹介、ニュース記事のいずれでもよい。掲載の節は謝礼を呈する。

(4) 寄稿の採否

採否は常務理事を含む幹事会が決定する。また要旨だけ掲載する場合もある。前項1および3に該当するもので、本会受付前に、他の公開出版物にほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは、原則として掲載しない。

(5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35

電子工業振興協会内 情報処理学会

(6) 論文別刷 50部著者に贈呈。それ以上は有料。